

バイオマス専焼発電施設整備事業

計画段階環境配慮書

平成 29 年 3 月

オリックス株式会社

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図及び2万5千分1地形図を複製したものである（承認番号 平28情復、第1245号）。

目 次

第1章 事業を実施しようとする者の名称、代表者の氏名 及び主たる事務所の所在地	1-1
第2章 事業の目的及び内容	2-1
2.1 事業の目的	2-1
2.2 環境影響評価にあたって	2-1
2.3 事業の名称	2-2
2.4 事業の種類	2-2
2.5 事業の規模	2-2
2.6 事業実施想定区域	2-2
2.7 事業計画の概要	2-6
2.8 複数案の設定	2-11
2.9 工事に関する事項	2-13
2.10 交通に関する事項	2-14
2.11 その他の環境に関する事項	2-15
第3章 対象事業が実施されるべき区域及びその周囲の概況	3-1
3.1 自然的状況	3-3
3.1.1 大気環境の状況	3-3
3.1.2 水環境の状況	3-12
3.1.3 土壌及び地盤の状況	3-27
3.1.4 地形及び地質の状況	3-29
3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3-34
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況	3-50
3.2 社会的状況	3-55
3.2.1 人口及び産業の状況	3-55
3.2.2 土地利用の状況	3-57
3.2.3 水域利用の状況	3-60
3.2.4 交通の状況	3-68
3.2.5 環境の保全の配慮が特に必要な施設の配置及び住宅の配置の状況	3-71
3.2.6 下水道の整備の状況	3-73
3.2.7 環境の保全を目的とした法令等による指定地域及び規制等の状況	3-75
第4章 計画段階配慮事項の選定	4-1
4.1 計画段階配慮事項の選定方針	4-1
4.2 事業特性と地域特性の整理	4-1
4.2.1 事業特性の整理	4-1
4.2.2 主な地域特性	4-4

4.3	計画段階配慮事項の選定	4-6
4.4	調査、予測及び評価の手法及び選定理由	4-11
4.4.1	調査、予測及び評価の手法	4-11
4.4.2	手法選定の理由	4-11
第5章	調査、予測及び評価の結果	5-1
5.1	大気質（硫黄酸化物、窒素酸化物、浮遊粒子状物質）	5-1
5.1.1	調査	5-1
5.1.2	予測	5-9
5.1.3	評価	5-34
第6章	総合評価	6-1
第7章	計画段階環境配慮書を委託した事業者の名称、 代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	7-1

巻末資料

大気質の複合影響予測に関する事項	資料 1
------------------------	------